

DCX CONNECTOR

RSB、OTB専用

この度は弊社製品<DCXコネクタ>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はブースターをワンタッチ装着する為の専用カプラーです。本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

お願い！ 本製品は性能向上他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなって下さい。

⚠️ 警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。

⚠️ 注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

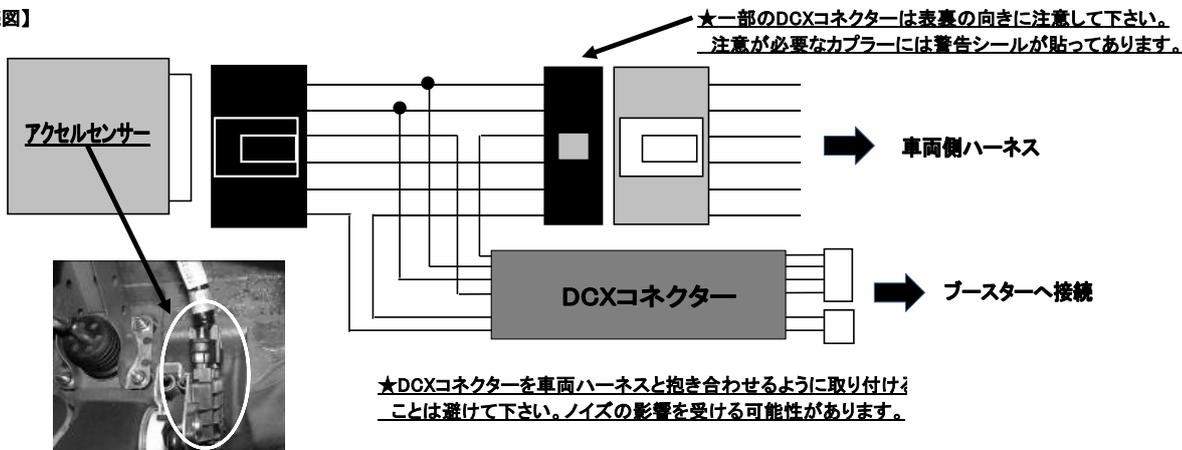
- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

【取り付け上の注意】 アクセルセンサーは下記品番の製品を除き、車内にあります。エンジンルーム内の同形状のコネクタに接続した場合誤作動します。
★エンジンルーム接続の品番 DCX-F2、DCX-T2、DCX-T3

⚠️ 注意！ ●ハーネス類を車両ハーネスと一緒に束ねることは避けて下さい。ノイズ等による機器誤作動の危険があります。また運転の障害にならぬようまとめて下さい。

- 取り付け作業はキースイッチを抜いてから1～15分間はおこなわないで下さい。(完全に電源がOFFになるまで)
→キースイッチを抜いても数分間電源がOFFにならない車両がある為(ホンダ車、輸入車は時間がかかります)
→電源がOFFにならない状態で作業をおこなった場合は車両ECUが『エラー認識』してしまうことがあります。
- 取り付け作業はバッテリーをはずさずにおこなって下さい→バッテリーをはずした場合は(アイドリング学習)が必要な場合があります。
- 電子スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には慎重に作業をおこなって下さい。
- 接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、エンジンチェック点灯等の状況が出てしまいます。
この場合専用の機器しかエンジンチェックの点灯は消せないことがあります。十分注意して作業をおこなって下さい。

【接続図】



【アクセルセンサーへの取り付け方法】

- ①アクセルペダル根元にあるアクセルセンサーを確認してカプラーを抜いて下さい。
- ②車両側カプラーにDCXコネクタを確実に差し込んで下さい。

【アクセルセンサーへの取り付け方法】

- ①アクセルペダル根元にあるアクセルセンサーのカプラー(6極)を抜いて下さい。

⚠️ 注意 ●防水ゴムを外さないで装着しますと、接触不良もしくは警告灯が点灯いたしますのでご注意ください。

- ③抜いたカプラーにDCX-A1を確実に割り込ませて下さい。

- ④DCX-A1はカプラーの上下がわかりづらい構造になっていますご注意ください。

- カプラーに貼ってある黄色いシールを目安に確実に装着して下さい。
- DCX-A1は特殊形状の為、ロック部分が完全にかみ合いません。(画像③)
- DCX-A1を装着した状態の寸法は47mm～48mmになります。(画像④)

- ⑤装着後必ずテーピングにて固定して下さい。(画像⑤)



○ 正しい接続



× 間違った接続

